

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 3 年 8 月 26 日 (2021.8.26)

【公開番号】特開 2021-79166 (P2021-79166A)

【公開日】令和 3 年 5 月 27 日 (2021.5.27)

【年通号数】公開・登録公報 2021-024

【出願番号】特願 2021-26625 (P2021-26625)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 0 4 D

【手続補正書】

【提出日】令和 3 年 7 月 13 日 (2021.7.13)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技を行うことが可能な遊技機において、  
所定の態様で動作可能な可動演出手段と、  
所定の事象を検出するための検出手段と、  
前記検出手段からの入力信号に基づき所定の制御を行う主制御手段と、  
前記主制御手段からの信号に応じた演出の制御を行う演出制御手段と、  
遊技の演出画像を表示すると共に、複数の演出図柄を変動表示させる変動演出を実行す  
るための表示手段と、を備え、  
 前記演出制御手段は、  
前記遊技機への電力供給の開始後に前記可動演出手段の初期動作を行い、遊技の実行中  
に前記可動演出手段の演出動作を行うことが可能であり、  
前記遊技機への電力供給の開始後に前記表示手段に前記複数の演出図柄を表示させるこ  
とが可能であり、  
 前記検出手段は、  
遊技媒体を検出するための第 1 検出手段と、  
所定の異常を検出するための第 2 検出手段と、を含み、  
前記遊技機への電力供給中に前記第 2 検出手段が前記所定の異常を検出した場合、所定  
の報知を実行することが可能であり、  
前記遊技機への電力供給が開始されたときに前記主制御手段と前記第 2 検出手段とが非  
接続状態である場合、所定の報知を実行することが可能であり、  
前記遊技機への電力供給が開始されたときに前記主制御手段と前記第 2 検出手段とが非  
接続状態であることに基づく所定の報知の実行中であっても、前記表示手段に前記複数の  
演出図柄が表示されることを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 5】

しかしながら、上記特許文献に記載されたような遊技機では、電力供給が開始されたときに主制御手段と検出手段との接続状態の異常を把握できないという問題があった。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

本発明は、上記した問題点に鑑みてなされたものであり、電力供給が開始されたときに主制御手段と検出手段との接続状態の異常を把握することが可能な遊技機を提供することを目的とする。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

上記課題を解決するため、本発明によれば、遊技を行うことが可能な遊技機において、所定の態様で動作可能な可動演出手段（第1可動部材73、第2可動部材74、演出ボタン17）と、所定の事象を検出するための検出手段（始動口検出スイッチ、磁気検出センサ、電波検出センサ）と、前記検出手段からの入力信号に基づき所定の制御を行う主制御手段（主制御基板110）と、前記主制御手段からの信号（コマンド）に応じた演出の制御を行う演出制御手段（演出制御基板130）と、遊技の演出画像（演出図柄、背景画像等）を表示すると共に、複数の演出図柄を変動表示させる変動演出を実行するための表示手段（画像表示装置）と、を備え、前記演出制御手段は、前記遊技機への電力供給の開始後に前記可動演出手段の初期動作を行い、遊技の実行中に前記可動演出手段の演出動作を行うことが可能であり、前記遊技機への電力供給の開始後に前記表示手段に前記複数の演出図柄を表示させることが可能であり、前記検出手段は、遊技媒体を検出するための第1検出手段（始動口検出スイッチ）と、第1の異常（磁気、電波）を検出するための第2検出手段（磁気検出センサ、電波検出センサ）と、を含み、前記遊技機への電力供給中に前記第2検出手段が前記第1の異常を検出した場合、所定の報知（磁気エラー報知、電波エラー報知）を実行することが可能であり、前記遊技機への電力供給が開始されたときに前記主制御手段と前記第2検出手段とが非接続状態である場合、所定の報知（磁気エラー報知、電波エラー報知）を実行することが可能であり、前記遊技機への電力供給が開始されたときに前記主制御手段と前記第2検出手段とが非接続状態であることに基づく前記所定の報知の実行中であっても、前記表示手段に前記複数の演出図柄が表示され、前記所定の報知の実行中に前記主制御手段と前記第2検出手段とが接続状態となっても、所定期間にわたって前記所定の報知が継続することを特徴とする。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

本発明によれば、電力供給が開始されたときに主制御手段と検出手段との接続状態の異常を把握することが可能となる。